

第 47 回少年の主張全国大会～わたしの主張 2025～
開催要綱

1. 趣 旨 少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められています。
そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などと共に、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身に付けることが大切です。
少年の主張全国大会は、子どもたちにとって、これらの契機となることを願い実施するものです。
2. 開催日時 令和 7 年 11 月 16 日（日）13 時～16 時
3. 開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号
4. 対 象 日本在住の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの。
※国籍は問わないが、日本語で発表できること。
なお、作品は未発表、自作のものに限ります。
5. 主 催 国立青少年教育振興機構
6. 特別協力 公益財団法人上廣倫理財団（予定）
7. 協 力 都道府県、青少年育成道府県民会議、全国青少年育成県民会議連合会、
（予 定）全日本中学校長会、日本私立中学高等学校連合会、公益社団法人日本 PTA 全国協議会
8. 後 援 内閣府、文部科学省、東京都教育委員会、日本放送協会、
（予 定）一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会
9. 発表者・発表内容等
 - （1）主 張 発 表 者 各都道府県大会の代表者合計 47 名の中から、ブロック代表として 12 名の全国大会の発表者を決めます。※別紙 審査方法の通り
 - （2）ブロック代表定数 全国を 5 ブロックに分け、ブロック毎に出場者数を定め、それぞれのブロックの発表者を選出します。

○ 北海道・東北ブロック	2 名
○ 関東・甲信越静岡ブロック	3 名
○ 中部・近畿ブロック	3 名
○ 中国・四国ブロック	2 名
○ 九州ブロック	2 名

(3) 発 表 内 容

- ア 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
 - イ 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど。
 - ウ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。
- 上記のような内容で、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークに、飾り気のない言葉でまとめたもの。
- また、商業的な固有名詞の使用は極力避けるようにしてください。
(悪い例：〇〇県にある〇〇旅館 良い例：〇〇県にある旅館 など。)

(4) 発 表 時 間 5分程度(400字詰原稿用紙 4枚程度)

10. 表 彰

- (1) 全国大会発表者(12名)に国立青少年教育振興機構理事長より奨励賞、全国大会発表者に選考されなかった都道府県大会代表者全員(35名)に同理事長より努力賞を贈ります。
- (2) 全国大会の審査委員会で審査の上、文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞他を選考し、賞状を授与します。また、審査委員会の審査過程によっては、審査委員会委員長賞が選考される場合があります。
- (3) 全国大会発表者全員(12名)に、記念品が贈呈されます。また、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞・審査委員会委員長賞を受賞された方には、副賞が贈呈されます。

11. そ の 他

- (1) 応募は、各青少年育成都道府県民会議等を通して行います。
- (2) 全国大会に応募した作品の著作権は、国立青少年教育振興機構に帰属します。
- (3) 全国大会当日のプログラム、発表集には、本人の写真と氏名、学校名等を掲載いたします。
- (4) 全国大会実施後に作成する報告書(作品集)について、当日の実施風景をはじめ、全国大会に応募(推薦)された47作品全てを掲載し、本人の氏名及び学校名等を公開するとともに、関係機関に配布します。

※全国大会当日の発表の様子や審査結果については、本人の氏名及び学校名等をWEB上でも公開します。

12. 問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構
教育事業部 事業企画課 事業係
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
Mail shucho@niye.go.jp